


いま見える未来は、超えていける。

安田倉庫は、挑戦を続けます。

国境も、従来の物流の枠も超える、ボーダレスなロジスティクスカンパニーへと進化するために。

そして、お客様が思い描く事業と社会の新しいかたちを創造するために。



安田倉庫グループ 個人投資家向け会社説明会

安田倉庫株式会社（東証プライム：9324）

代表取締役社長 小川一成

2024年9月8日

YASDA

Logistics, Progress, Borderless.

目次

1. 安田倉庫について
2. 成長戦略（長期ビジョンと中期経営計画）
3. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた方針
4. 株主還元
5. 参考資料

01

安田倉庫について

会社概要

会社名	安田倉庫株式会社 Yasuda Logistics Corporation
所在地	東京都港区芝浦三丁目1番1号 msb Tamachi 田町ステーションタワーN 29階
創立	1919年12月20日
代表者	代表取締役会長 藤井 信行 代表取締役社長 小川 一成
事業内容	倉庫業、運送事業、不動産業
資本金	3,602,100千円
市場	東証プライム（証券コード：9324）
従業員数	単体 482名 連結2,527名（2024年3月末）
連結子会社	24社（国内17社 海外7社）
決算月	3月



msb Tamachi
田町ステーションタワーN

企業理念・コーポレートスローガン

安田倉庫グループ企業理念



安田倉庫コーポレートスローガン

Logistics, Progress, Borderless.

お客様と共にグローバルなロジスティクスカンパニーに成長すべく、当社グループが一体となり、その一人一人が従来の事業の枠にとらわれることなく常に発展・成長を続け、物流を進歩させていく決意を表しています。

100年を超える歴史

1919年

興亜起業(株)
として創立



安田善次郎



守屋此助

1942年

社名を
安田倉庫(株)
に改称



函館常備倉

2005年

東証1部
上場



安田倉庫株式会社

2019年

創立100周年



大西運輸/オオニシ機工
のグループ入り決定



大西運輸



オオニシ機工

2020年
〜
2021年

東京メディカル
ロジスティクス
センター
I / II 開設



南信貨物自動車Gの
グループ入り



2022年

東証
プライム
移行



2023年

安田ロジファーマ
/YSO Logiのグループ入り



安田ロジファーマ



YSO Logi

インド・シンガポール進出



2024年

オリエント・
サービスの
グループ入り



加須営業所開設



様々なサービスを提供する総合物流企業

国内物流



オフィス
サポート



メディカル
物流



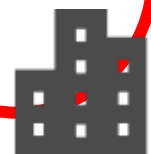
国際
物流



IT機器
物流

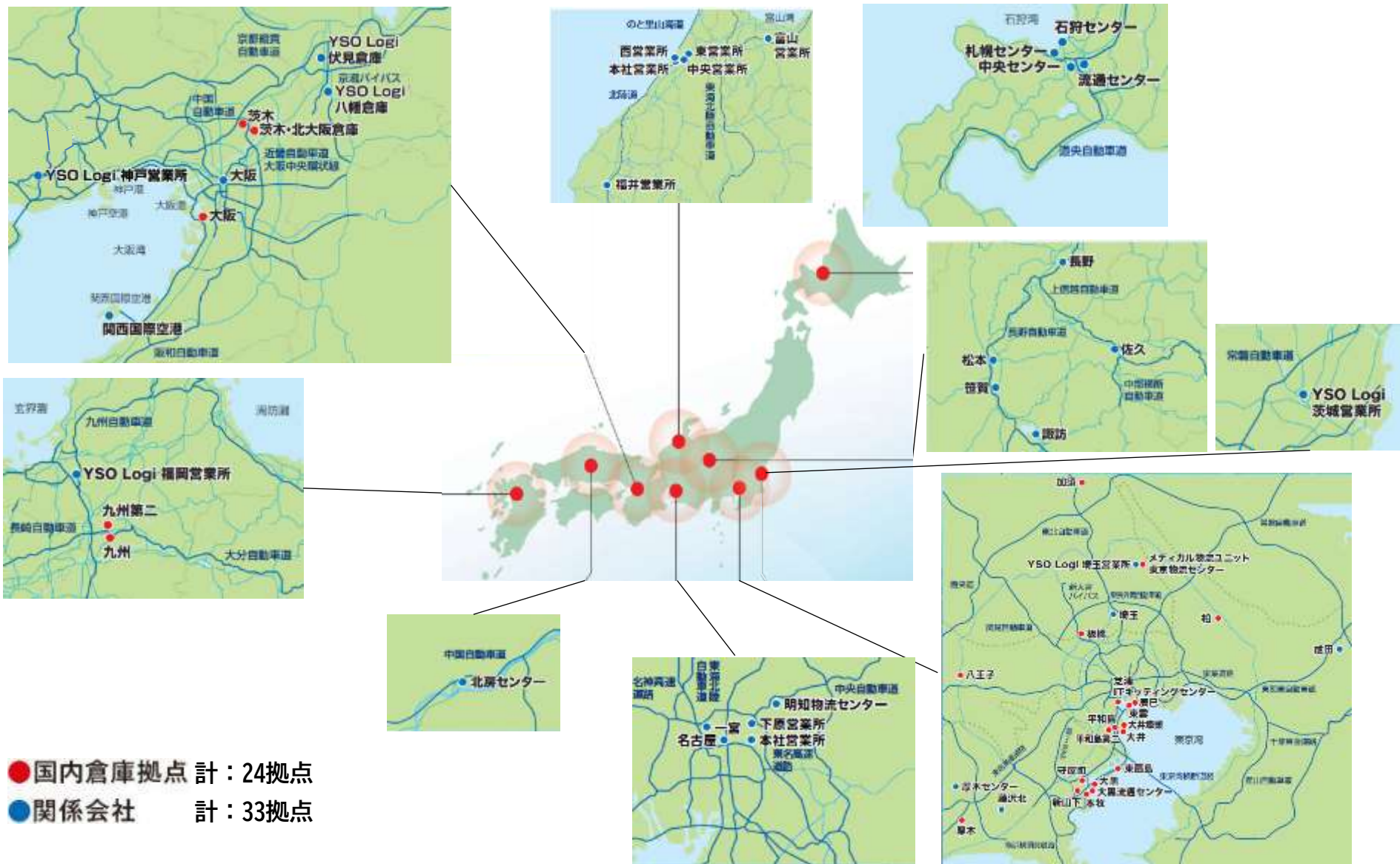


不動産

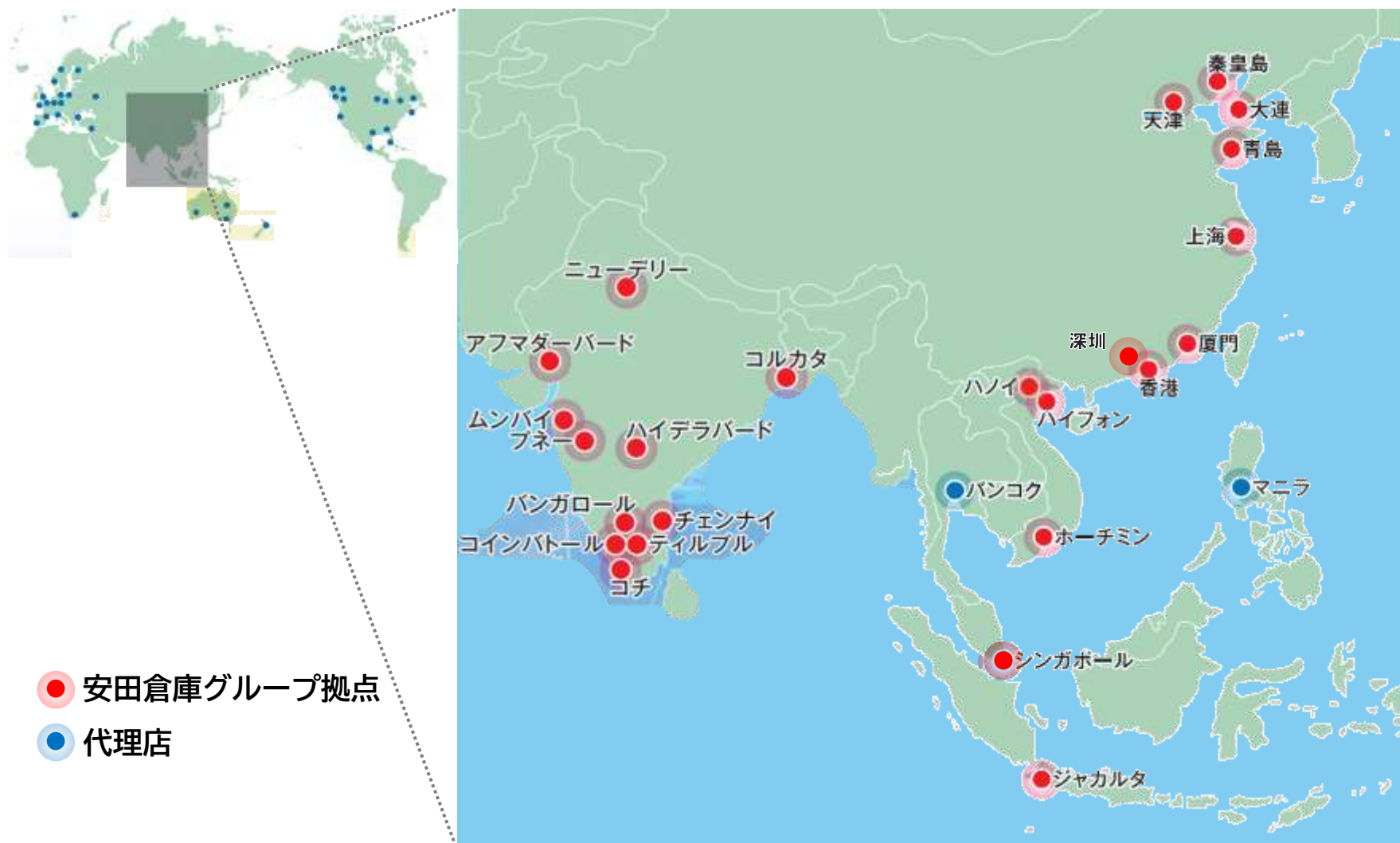


日本全国をカバーする国内ネットワーク

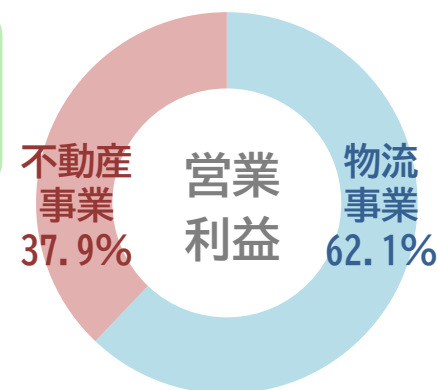
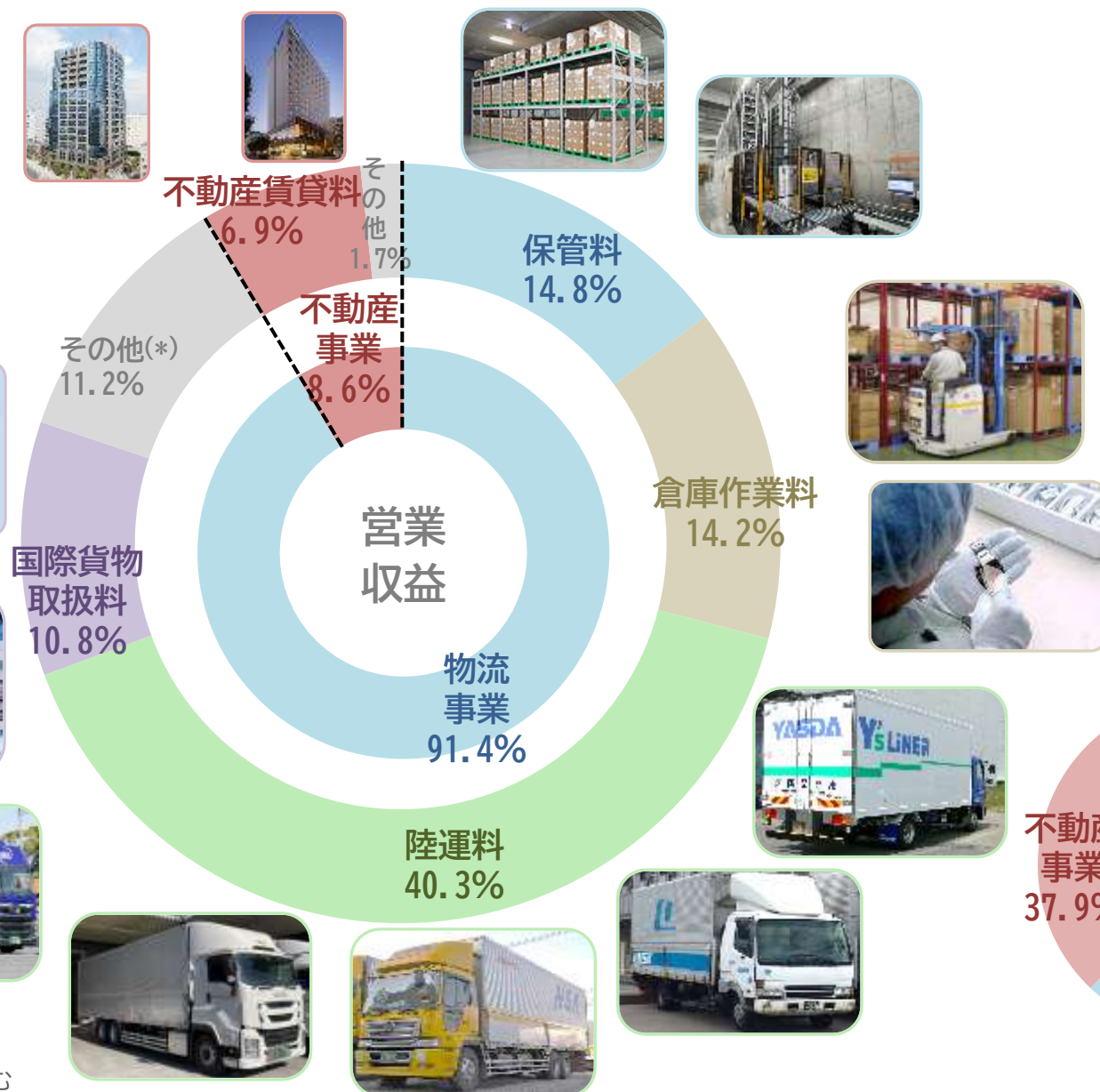
東西の主要拠点をつなぐ持続的なサプライチェーンを提供



中国・ASEAN・インドを中心に世界各国へ展開するネットワーク

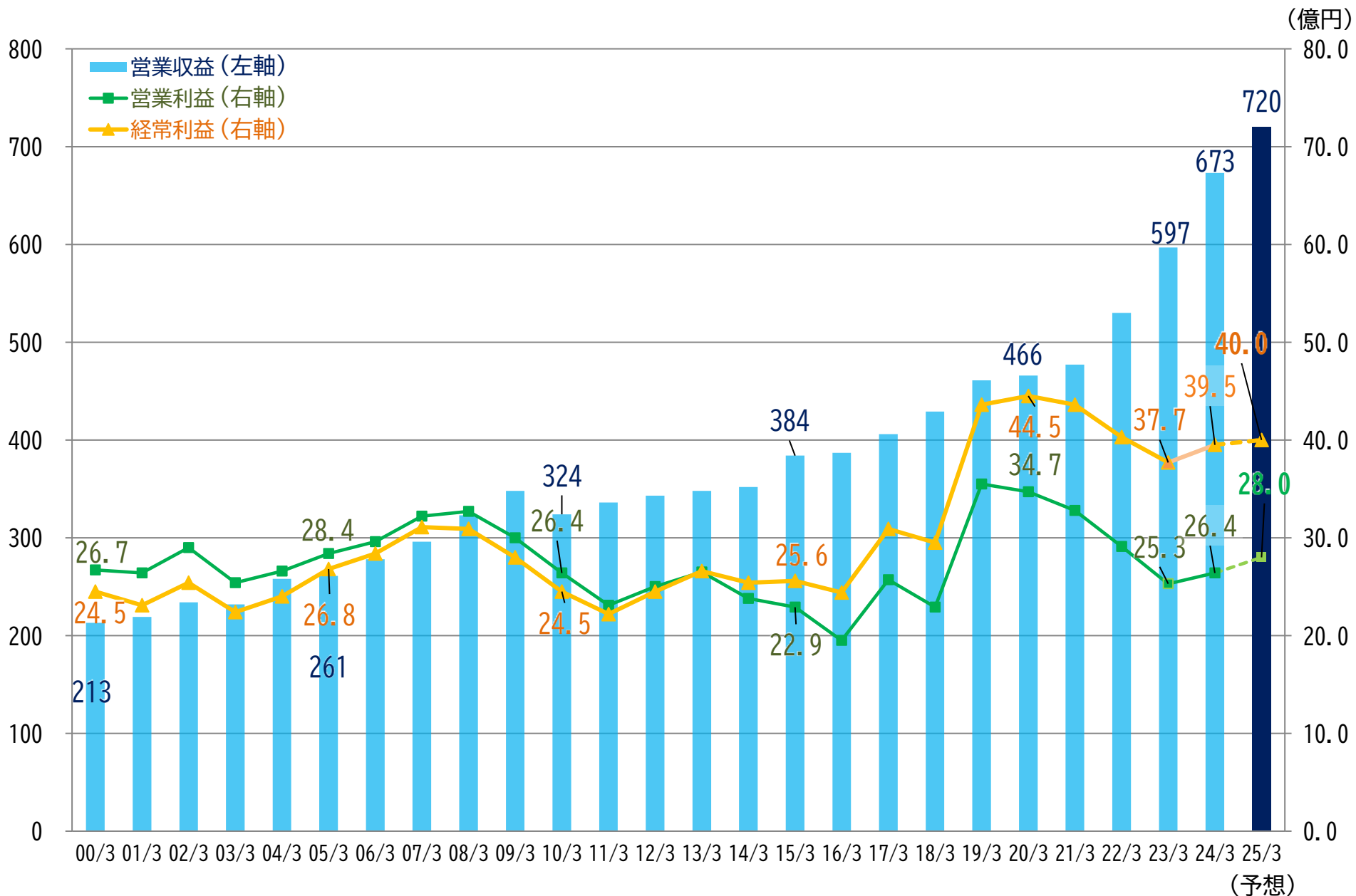


収益構成（2024年3月期）



(*) 物流賃貸料含む

業績推移



02

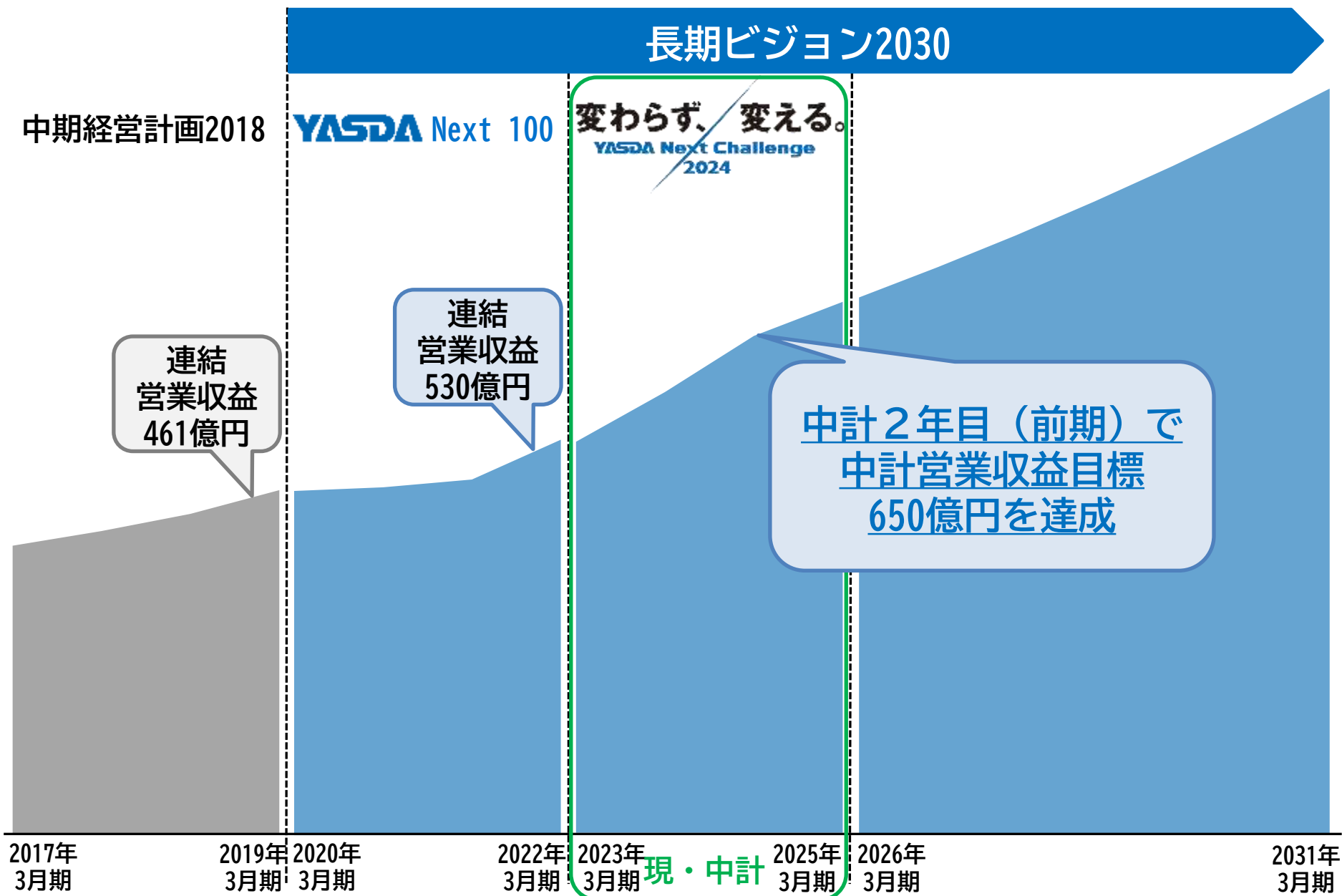
成長戦略（長期ビジョン・中期経営計画）

長期ビジョン2030

世界に誇れるYASDAブランドと革新的テクノロジーの融合で
全てのステークホルダーの期待を超える企業グループを目指す



長期ビジョン2030



2022年度～2024年度中期経営計画の概要

■中期経営計画

変わらず、変える。

YASDA Next Challenge 2024

■基本方針

最先端テクノロジーと人間力を融合した、
「YASDA Value」で多様化する社会とお客様ニーズに応える。

YASDA Value = お客様の声に真摯に耳を傾け誠実にお応えする安田倉庫グループで共有する価値

■基本目標

業績目標

営業収益
650億円

営業利益
40億円

経常利益
48億円

営業利益率
6%

物 流

お客様のビジネス環境に合わせた
最適なサービス提供と、
既存の物流の領域に捉われない
新サービスの創造

不動産

保有不動産の再開発による
収益基盤の更なる強化

経営インフラ

社会環境の変化にも
柔軟に対応できる
サステナビリティ経営基盤と、
確固たる現場力・人間力の確立

■基本戦略

付加価値の高いサービスの提供に向けたソリューションの強化とネットワークの拡充

- ソリューション提案型営業の深化
- メディカル物流拠点の拡充と体制の強化
- IT機器ライフサイクルマネジメント業務体制の拡充
- EC物流サービスの拡充
- ワークスタイルの変化に適應したオフィスサポートの事業転換
- 国内外の輸配送ネットワーク拡充
- 新しい物流技術・DXの活用による新サービス開発

保有不動産の維持管理と価値向上施策を通じた事業拡大

- 芝浦地区、横浜地区の保有不動産再開発
- お客様ニーズに応じた施設の適切なメンテナンスと機能向上

「YASDA Value」に磨きをかけるための経営インフラの高度化

- 多様な人材活用と専門人材育成
- 働きやすい環境の更なる整備
- DXの基盤としての情報システム高度化
- グループ連携の強化
- ステークホルダーの持続可能な発展に貢献するサステナビリティの取組み推進
- コンプライアンス、リスク管理の徹底とガバナンス強化
- サービス品質の維持・向上に向けた品質管理体制と現場力強化
- 事業基盤の災害強靱化と防災徹底
- 規律ある財務運営と成長投資の両立
- YASDA Next Challenge (新規事業・新規施策)

中計期間において、計360億円（物流事業280億円、不動産事業40億円、DXおよびシステム40億円）の投資を計画

中期経営計画の実現に向けて

2024年問題・労働力不足への対応①

輸配送サービスの安定供給に向け、MAを通じた運送ネットワーク拡充と運送グループ会社の更なる連携強化を図る

24年3月、オリエント・サービスのグループ会社化



オリエント・サービス 明知物流センター（愛知）

愛知県春日井市を拠点に、営業倉庫と中京エリアの輸配送ネットワークを有するオリエント・サービスのグループ会社化により、安田倉庫グループ既存の関東・関西・北信越拠点をつなぐ中継拠点として機能を発揮させ、倉庫・輸配送ネットワークの更なる拡充を図ります。



大西運輸
2019年グループ入り
車両台数：300台
主なエリア
北陸



南信貨物自動車
2021年グループ入り
車両台数：290台
※パワード：エル・コム分含む
主なエリア
甲信・関東・中京



YSO Logi
2023年グループ入り
車両台数：65台
主なエリア
関西・関東・九州



オリエント・サービス
2024年グループ入り
車両台数：168台
主なエリア
中京・関東・関西



安田運輸
車両台数：112台
主なエリア
関東・関西・中京
・九州・東北

中期経営計画の実現に向けて

2024年問題・労働力不足への対応②

労働力不足への対応のため、21年2月に設置したDX事業推進室のもと、物流現場の省人化・AI技術の導入や実証実験に取り組む

物流現場の省人化事例



重量貨物を積載したカゴ台車を搬送する
AGV（自動搬送車）



貨物の納品先毎に仕分け作業を行う次世代型ロボットソーター

中期経営計画の実現に向けて

2024年問題・労働力不足への対応③

A I 技術の導入

●ロボット群制御A I で稼働するAMR・無人フォークリフトの導入



作業者と協働して貨物のピックアップを行うAMR（自律走行搬送ロボット）の導入



無人フォークリフトの導入

「DX認定事業者」の認定取得



DX認定

安田倉庫のDXに関する取組みなどが評価され、2023年11月1日付で、経済産業省が定める「DX認定制度」に基づき、「DX認定事業者」の認定を取得しました。

中期経営計画の実現に向けて

海外ネットワークの拡充

アジア太平洋地域におけるネットワークの拡充に向けて

➢23年度に営業開始したインド、シンガポール現法との連携強化

➢インドネシアにおける倉庫拠点の開設

を目指す

Yasuda Logistics India Pvt. Ltd.

- 2023年7月設立
- Worldgate Express Lines International Pvt. Ltd. より全事業（フォワーディング事業等）を譲り受け、2024年1月より営業開始

ムンバイ

ニューデリー

コルカタ

チェンナイ

Yasuda Logistics Singapore Pte. Ltd.

- 2023年6月設立
- Worldgate Express Lines Pte. Ltd. より全事業（フォワーディング事業）を譲り受け、2023年10月より営業開始

PT. Jaya Yasuda Indonesia

- 2017年よりフォワーディング事業を営むインドネシアにおいて、新たに倉庫事業開始を目指し2023年2月設立、ジャカルタ近郊のMM2100工業団地内に倉庫用地を確保

中期経営計画の実現に向けて

MA・アライアンス戦略（メディカル物流）

医薬品・医療機器のノウハウの融合を通じたメディカル物流の更なる強化

23年3月、エーザイ物流のグループ会社化



安田ロジファーマ（旧エーザイ物流）本社

エーザイグループ製品の物流関連業務や、ほか医薬品メーカーの物流業務を担うエーザイ物流と安田倉庫グループが有する医薬品物流ノウハウ、物流施設、配送ネットワークを組み合わせることで、国内屈指の医薬品物流プラットフォームを構築し安定した総合メディカルサービスの提供を目指します。

23年10月より「安田ロジファーマ」に商号変更しました。

22年11月、ニューロシューティカルズへの出資



ニューロシューティカルズが取り扱うCTスキャン

大学・研究機関等から医療分野における様々なニーズを汲み取り、治療・診断機器の開発から日本国内での製造支援、海外からの輸入調達を行う医療機器開発ベンチャーであるニューロシューティカルズへの出資を通じ、メディカル物流サービスの拡充や更なる業容の拡大を目指します。

中期経営計画の実現に向けて

物流拠点の更なる拡充（加須営業所開設）

2024年4月1日、医薬品専用の輸配送と、医薬品管理に必要なGDPを備えた医薬品物流拠点機能を有する加須営業所を開設



倉庫内観



ドックシェルター付保冷库



医薬品専用車両



カフェテリア

所 在 埼玉県加須市北大桑138番地1

敷地面積 21,430㎡（約6,482坪）

延床面積 39,738㎡（約12,020坪）

主要構造 鉄骨造（免震構造）

階数 倉庫4階建



2024年6月、加須営業所内に
危険物倉庫が竣工しました

中期経営計画の実現に向けて

物流拠点の更なる拡充（羽田メディカルロジスティクスセンターの新設）

医療機器総合ワンストップサービスの提供拠点として
東雲、辰巳に続く新拠点を羽田空港至近エリアに設置予定



2020年 東京メディカルロジスティクスセンターⅠ
（東雲営業所）開設



2021年 東京メディカルロジスティクスセンターⅡ
（辰巳倉庫）開設



今後 羽田メディカルロジスティクスセンター
（〔仮称〕羽田営業所）開設予定



イメージ図

中期経営計画の実現に向けて

変化する社会のニーズに応じた物流サービスの拡大①

テレワークの浸透を背景に成長するIT機器ライフサイクルマネジメント



企業において近年増加する、PC、スマートフォン、タブレットなどのIT機器の管理運用業務について、資産・在庫管理、キットティング、設置・導入、運用・保守、回収、データ消去、廃棄といったライフサイクルにかかる一連の業務をお引き受けする「IT機器ライフサイクルマネジメント」サービスを提供しております。



PCキットティング



スマートフォン
キットティング

中期経営計画の実現に向けて

変化する社会のニーズに応じた物流サービスの拡大②

企業の働き方改革に貢献するBPOサービス



22年9月、芙蓉総合リースとBPOサービス事業分野において業務提携いたしました。業務提携の第一段として芙蓉総合リースのBPO事業関連子会社芙蓉アウトソーシング&コンサルティングが提供する総務アウトソーシングサービス「Somove（ソームーブ）」のサービスメニューとして、当社オフィスサポート事業の「文書保管サービス」、「オフィス移転サービス」が掲載されております。



文書保管・文書電子化サービス



オフィス移転サービス



※BPO=ビジネスプロセスアウトソーシング

芙蓉総合リースと共同で、バックオフィスの負荷軽減による働き方改革に貢献する
新たなビジネスの展開を目指す

中期経営計画の実現に向けて

横浜鶴屋町地区の再開発

お客様のニーズにあった空間の提供のため、
横浜駅西口エリアに多数保有する不動産の再開発を推進する

● 第8安田ビル建設

1～5F：メディカルスクエア鶴屋町（クリニックモール）
6～9F：メゾン鶴屋町（レジデンス）

24年12月竣工予定



イメージ図

中期経営計画の実現に向けて

サステナビリティの取り組み①

気候変動への対応

情報開示

TCFD提言への賛同表明



22年6月TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言に賛同表明し、当社HP上で気候変動関連情報の開示を開始。具体的な開示内容は以下よりご覧ください。

[気候変動への対応](#)



CDP スコア「C」の評価

企業に対して気候変動情報開示を求める国際イニシアチブであるCDP（Carbon Disclosure Project）より、「気候変動問題について自社への影響を考慮しており問題の内容を深く理解している。具体的な行動につなげるために重要な段階」として「C」スコアの評価をいただきました。今後も気候変動への対応深化に向けて取り組んでまいります。

取り組み

CO₂の更なる削減に向けて

当社グループCO₂排出量削減目標達成に向けた取り組みとして、算定ツール導入によるCO₂排出量の「見える化」や、CO₂を排出しない電力への切替を進めます。



CO₂排出量は、アスエネ株式会社の「アスエネ」にて算出しています。



東京メディカルロジスティクスセンター（東雲営業所）屋上への太陽光発電設備を設置しました。

サステナビリティ・リンク・ローン締結

23年11月、金利等の借入条件において当社グループCO₂排出量削減目標達成へのインセンティブを付与するサステナビリティ・リンク・ローンの締結を通じ、地球環境の課題解決に向けてCO₂排出量削減の実効性を高めつつ、事業の持続的な成長・発展を目指してまいります。

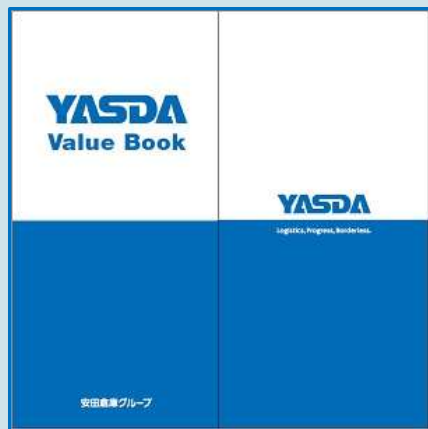
中期経営計画の実現に向けて

サステナビリティの取り組み②

多様な人材が人間力を最大限発揮できる職場の実現

理念の浸透

YASDA Value Book



企業理念、行動指針、経営計画を体系的に整理し、安田倉庫グループの価値観、行動基準、目標を認識し、振り返る原点として、「YASDA Value Book」（日本語版・中国語版・英語版）を発行し、グループで働く全ての方に共有しています。

人材育成・ダイバーシティ

女性活躍推進

女性管理職割合10%以上（26年3月末）を掲げ、管理職候補への女性活躍研修や女性が働きやすい体制・環境整備を進めます。



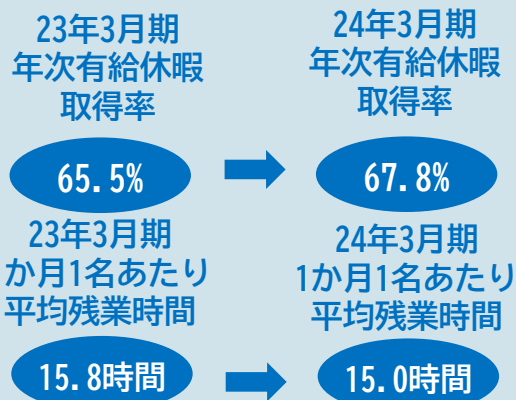
キャリア採用者の積極登用

高い専門性や異業種での経験を有する多様な人材確保と、入社後のキャッチアップ研修による人材育成をおこなっております。

働きやすい職場環境整備

働き方改革推進

業務や働き方の見直しにより、有給休暇取得や残業時間削減を推進しております。



「健康優良企業 金の認定」取得

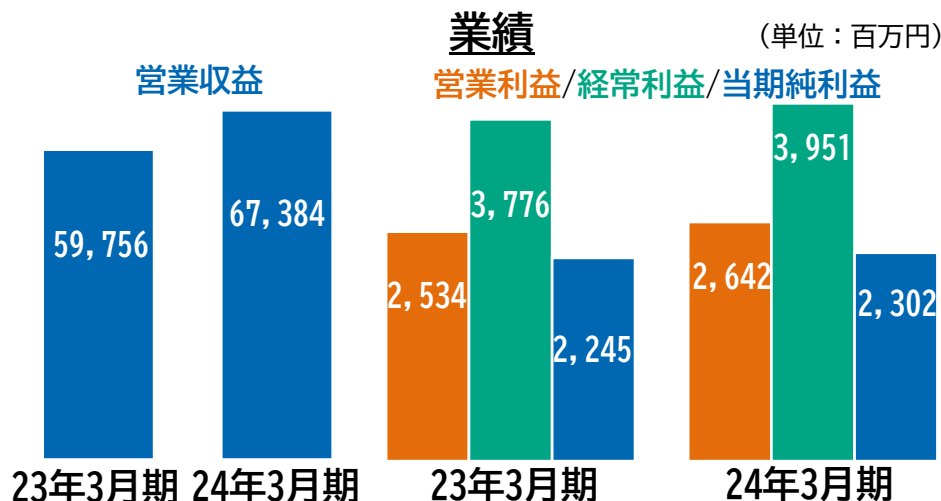


当社の安全衛生管理体制の高度化、働き方改革の推進、職場環境改善、従業員の心身への支援体制構築等が評価され、23年12月、健康企業宣言東京推進協議会より「健康優良企業 金の認定」を取得しました。

03

資本コストや株価を意識した経営 の実現に向けた方針

現状認識



➤ **24年3月期は増収増益**

事業投資 (23年3月期～24年3月期)

メディカル物流を中心に

196億円の設備投資



医薬品専用設備を備えた
加須営業所竣工

国内外の輸配送ネットワーク
や製薬会社物流子会社など
99億円のMA投資



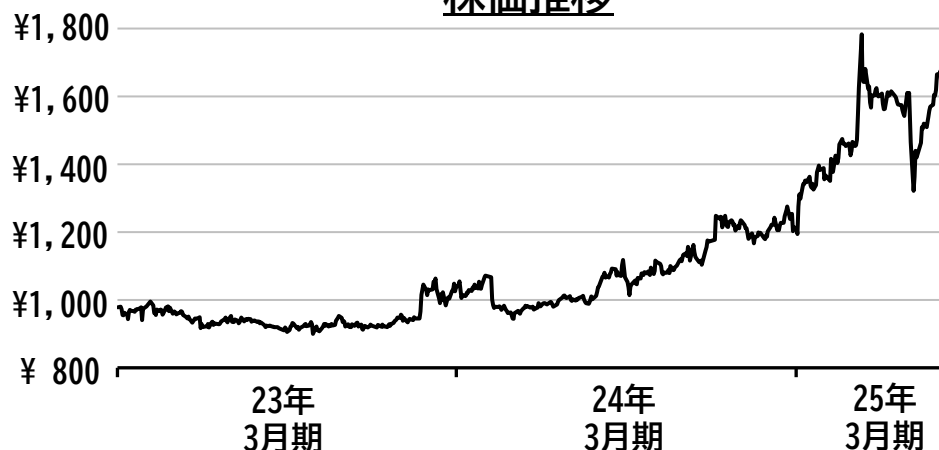
インド進出



安田ロジファーマ
(旧エーザイ物流)

➤ **2年間で計296億円の投資**

株価推移



PBR推移



※23年3月期・24年3月期の自己資本は期首期末平均、
25年3月期の自己資本は期首・1Q平均で算出

➤ **株価は上昇傾向にあり、PBRは0.4倍超に向上**

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた方針

資本効率の向上と投資家の評価獲得により株式価値向上を図る

成長投資と収益力向上の好循環 を通じた資本効率の向上

- 収益力向上
- 財務規律を遵守した資金調達
- 政策保有株式の縮減
- 持続的な成長に向けた投資
- 株主還元の強化

投資家の評価獲得

- 投資家における新たな認知の獲得
- 成長戦略への理解醸成に向けた投資家との建設的な対話の実施

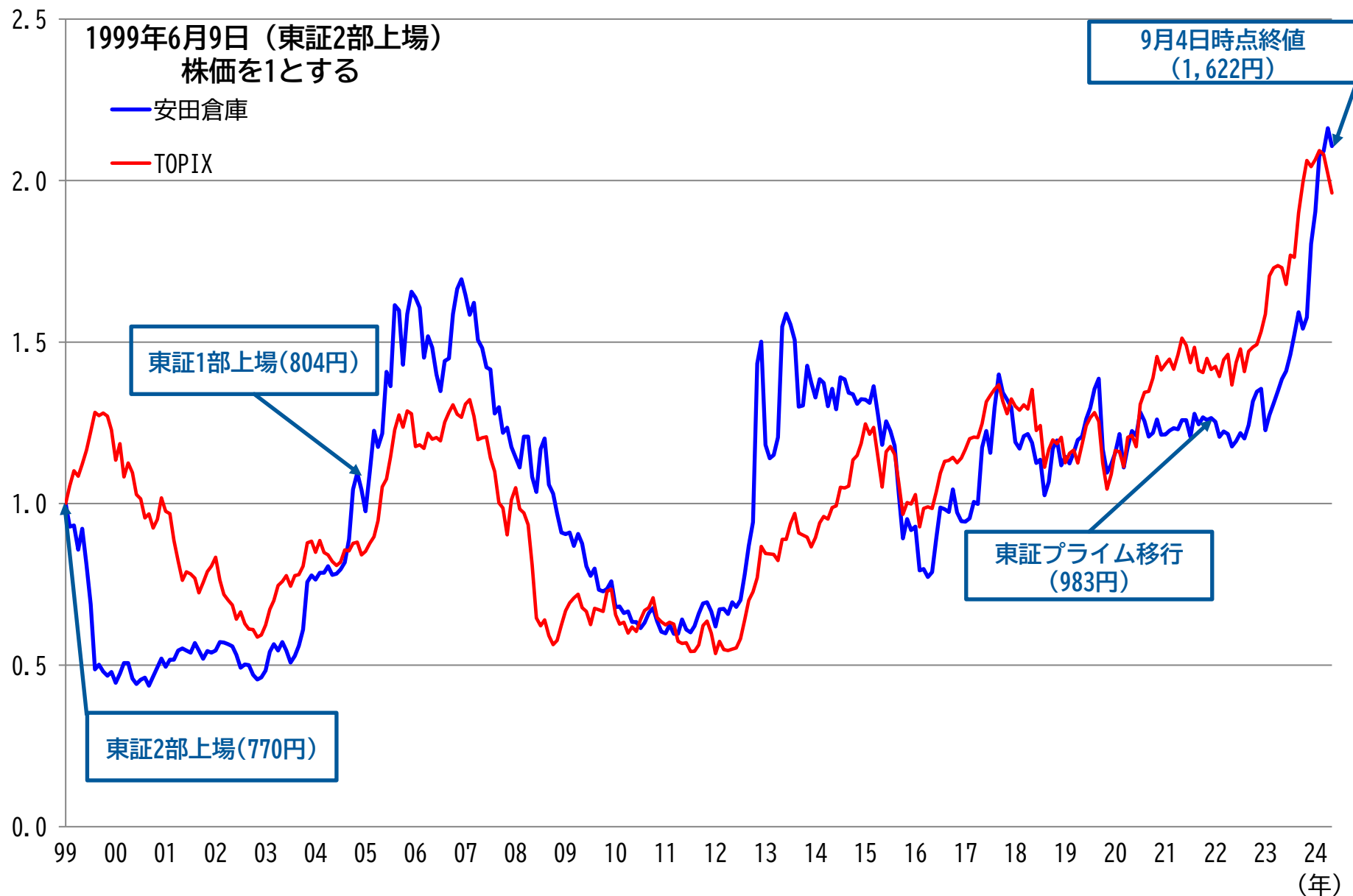
資本コストを上回る資本収益性を目指す

2026年3月期以降を対象期間とする次期中期経営計画において
株式価値向上に向けた具体的な施策の公表を予定しています。

04

株主還元

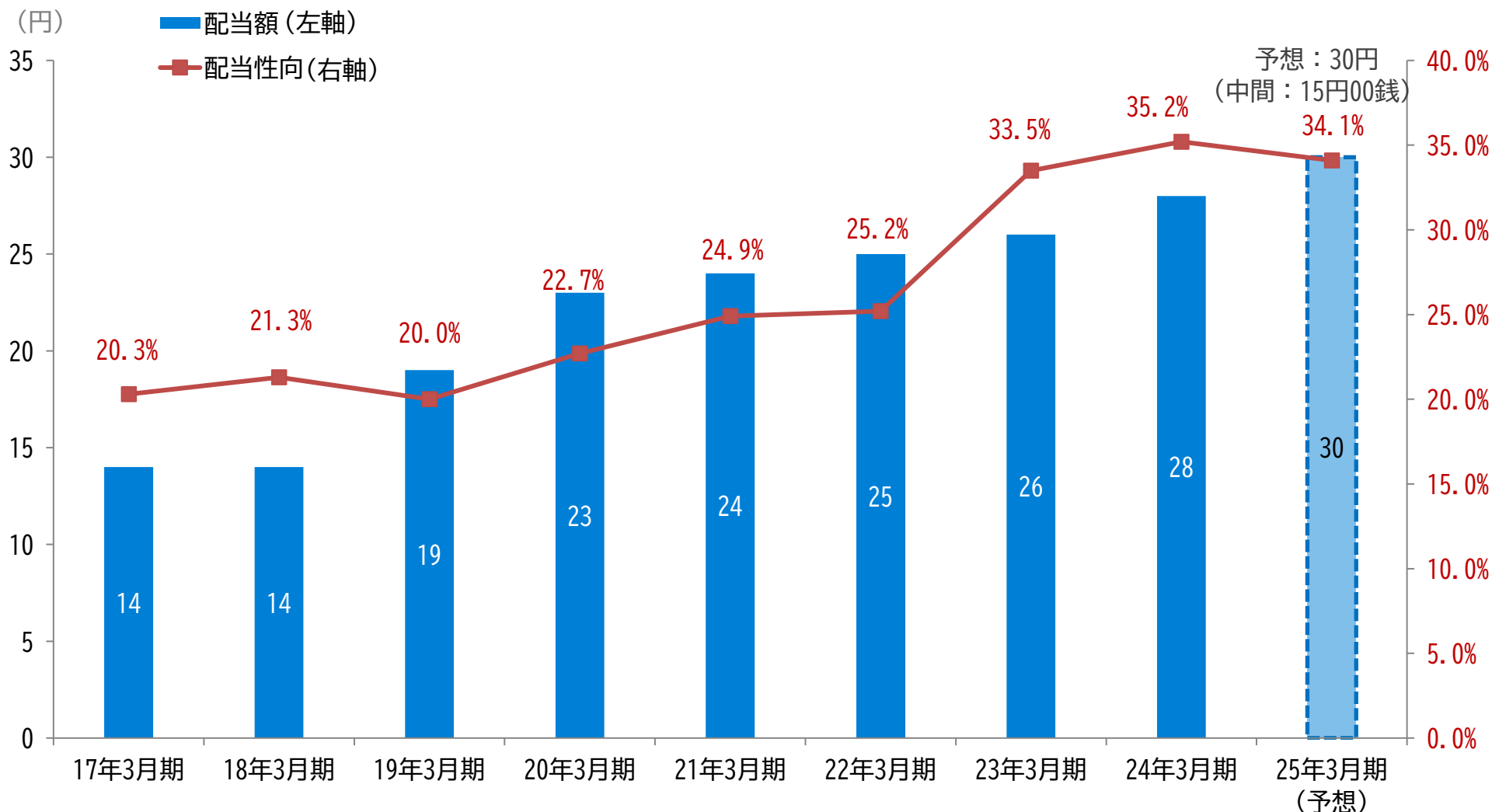
株価推移



連結配当性向30%以上を目標とし、継続的な増配を目指す

<基準日> ■中間配当：9月末
■期末配当：3月末

終値 (9月4日時点)	配当 (今期予想)	配当利回り (今期予想)
1,622	30	1.85%



株主優待

3月31日付の株主様を対象に株主優待を年1回実施

優待品

クオカード

保有株式数

	継続保有期間 3年未満	継続保有期間 3年以上
100株以上～1,000株未満	1,000円分	1,500円分
1,000株以上～5,000株未満	2,500円分	3,000円分
5,000株以上～	4,500円分	5,000円分



なお、株式会社共立メンテナンス様のご協力により
単元株以上を保有されている株主の皆様
に「ラビスタ函館ベイご宿泊優待券」をお届けしております。



当社ホームページを是非ご覧ください

<https://www.yasuda-soko.co.jp>

※ 2024年9月2日よりリニューアルしました

TOPページ



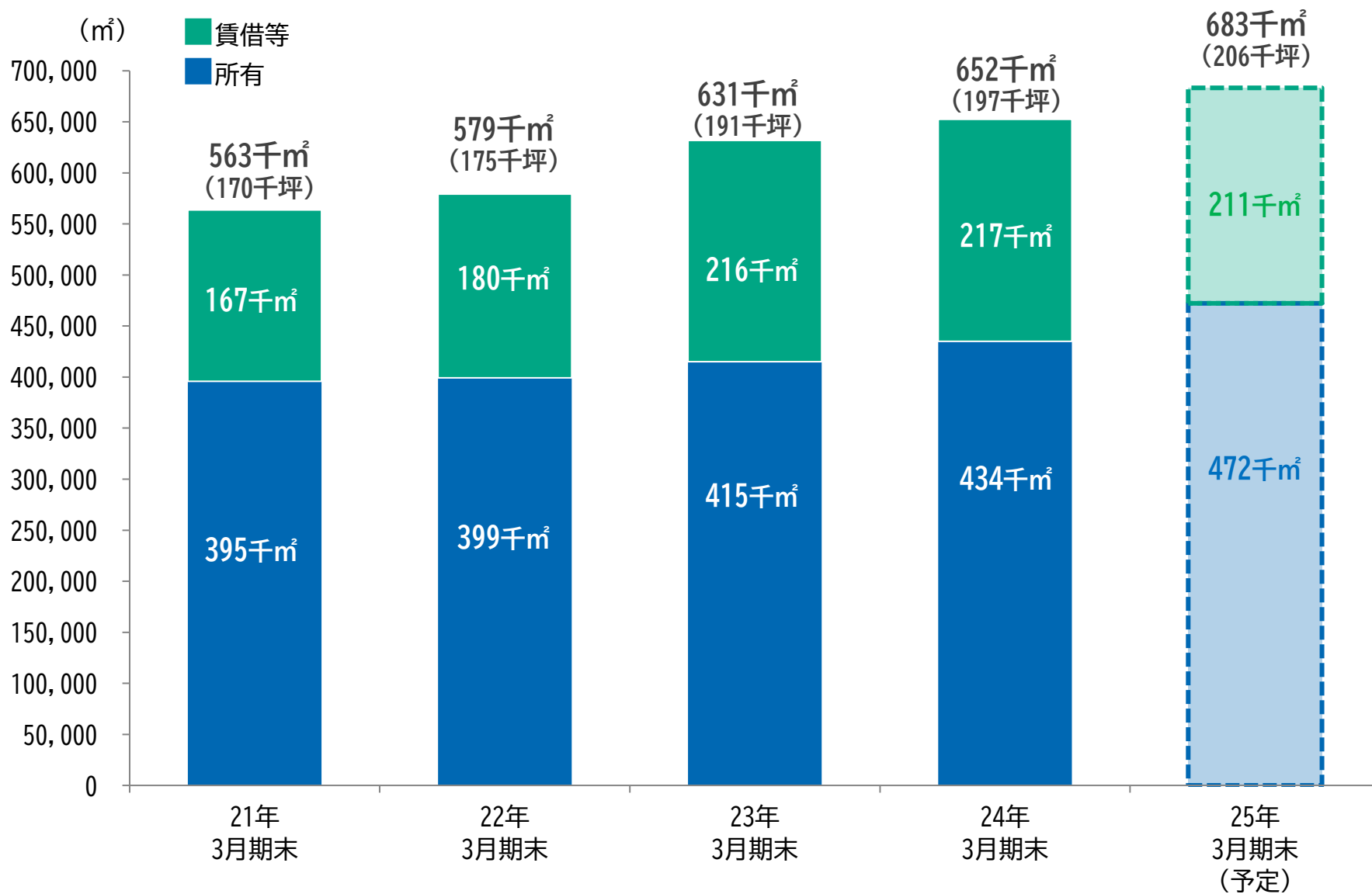
個人投資家の皆様へ



05

参考資料

物流事業施設面積推移



業績推移（連結）

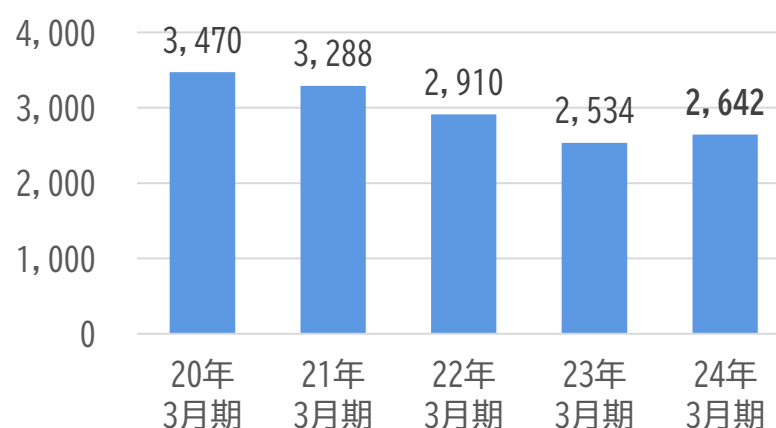
営業収益

(百万円)



営業利益

(百万円)



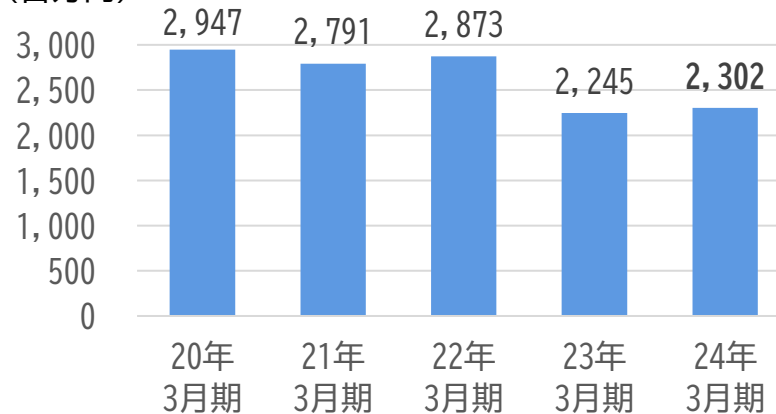
経常利益

(百万円)



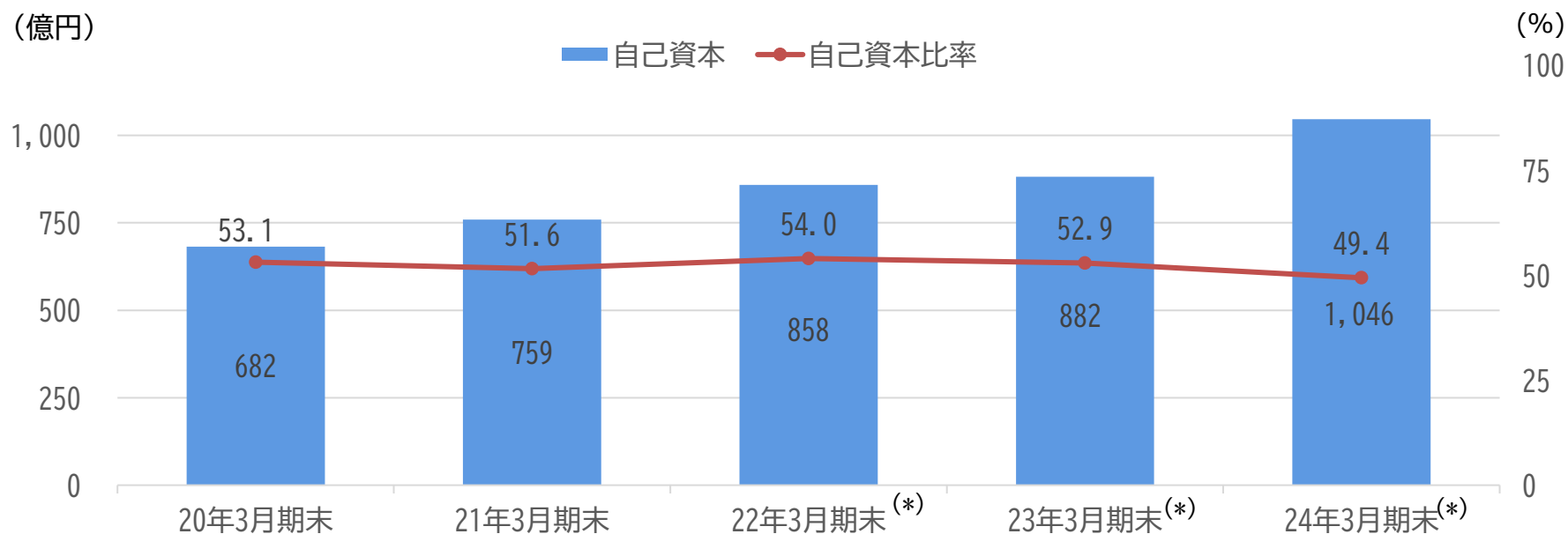
親会社株主に帰属する当期純利益

(百万円)



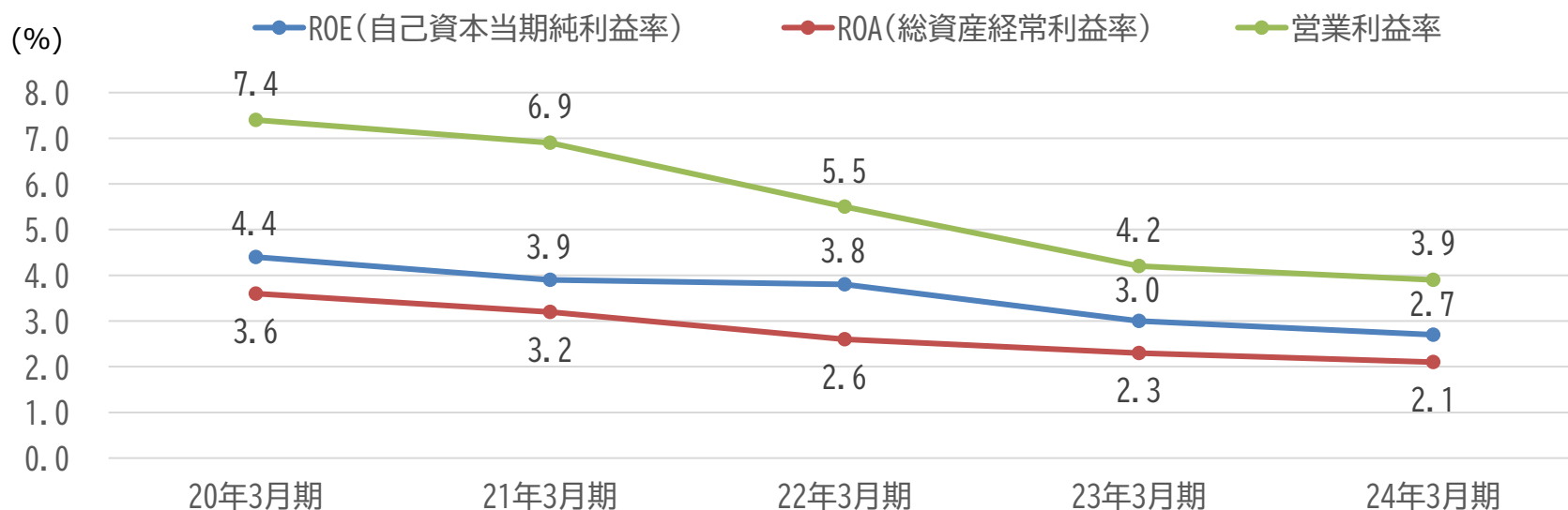
財務基盤

(億円)



(*)22年3月期末以降については、2022年2月実施のハイブリッドローン150億円(次ページ参照)のうち、75%(112.5億円)をみなし資本として算入

(%)

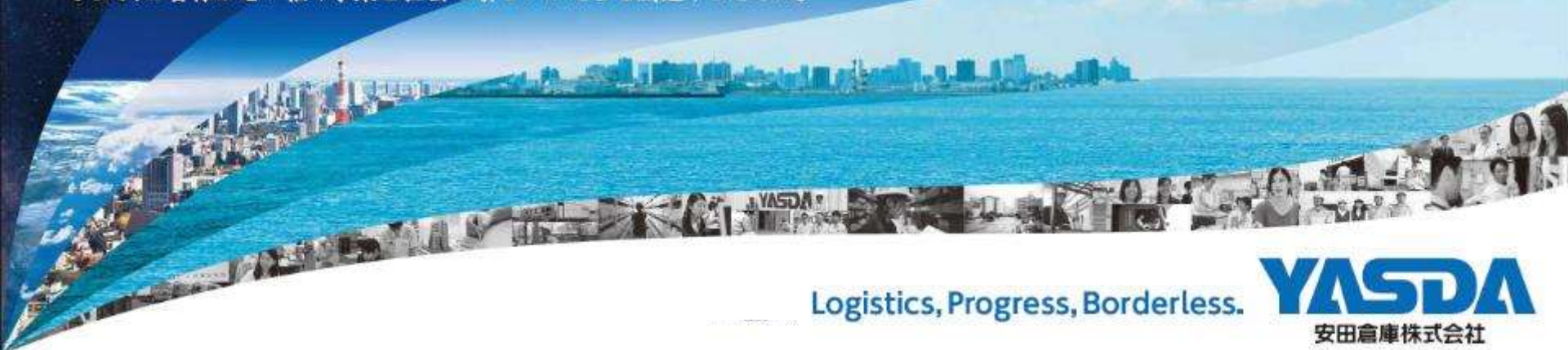


いま見える未来は、超えていける。

安田倉庫は、挑戦を続けます。

国境も、従来の物流の枠も超える、ボーダレスなロジスティクスカンパニーへと進化するために。

そして、お客様が思い描く事業と社会の新しいかたちを創造するために。



Logistics, Progress, Borderless.

YASDA

安田倉庫株式会社

当資料は、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。当資料は、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。

将来の業績は、経営環境等の変化に伴い、目標や計画に対し変化し得ることにご留意下さい。

投資を行う際には、必ず弊社が作成する有価証券報告書等をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。